

- 大阪・関西万博は、国内外から約2,820万人の来場者が集まるビッグイベントです。
- 万博の好機を捉え、三重県への誘客・県産品の販路拡大を図るとともに、将来の三重県訪問のきっかけづくりを行うため「①万博開催地における効果的な三重の魅力発信」「②万博来場者の本県への誘客」の2つの柱で取組を進めます。
- 2つの柱の実現に向けて、開催前年となる令和6年度の主な取組は、以下のとおりとします。

## ①万博開催地における効果的な三重の魅力発信に向けて

国内外から多くの人が集まる万博の開催地（関西圏）において、三重の魅力を発信することで、万博をきっかけに一人でも多くの方に三重を知っていただき、三重の魅力に触れていただくための取組を進めます。

（主な事業）

- 大阪・関西万博を契機とした関西圏プロモーション強化事業【407,051千円】**  
万博に向けて、展示製作・工事、運営準備のほか、万博会場内における催事の検討に取り組みます。また、R5年度に実施した関西圏情報発信事業の効果検証を踏まえ、関西圏におけるプロモーションを強化します。（雇用経済部）
- 大阪・関西万博を見据えた農林水産物販売チャンネル拡大推進事業【12,316千円】**  
関西圏のホテルでの三重県フェアやプロモーションイベント、航空事業者と連携したイベント等の開催により、県産農林水産物の更なる魅力発信と販売チャンネルの拡大を図ります。（農林水産部）
- 関西圏営業基盤構築事業【8,806千円】**  
関西圏における情報発信やネットワークの充実強化に取り組み、販路拡大や観光誘客、移住促進など、分野を横断する事業を総合的に調整し、効果的に推進します。（政策企画部）



三重県ブースのイメージ



関西パビリオンのイメージ



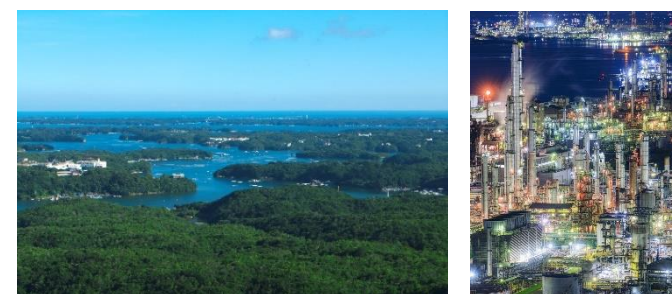
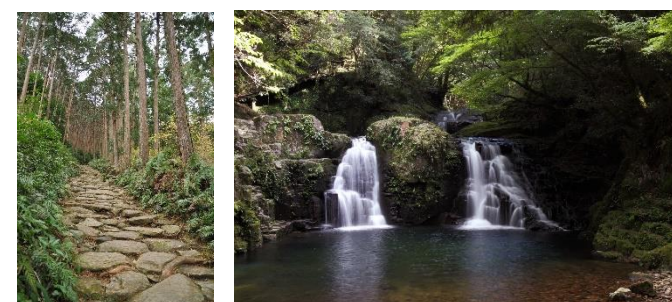
令和7年度に世界中から多くの人が集まる関西圏において、三重の認知度向上・魅力発信につなげます。

## ②万博来場者の本県への誘客に向けて

国内外からの多くの万博来場者を三重県への誘客につなげるため、多くの来場者が見込まれる首都圏をはじめ、インバウンドも視野に幅広く三重の魅力発信に取り組むとともに、県内周遊を促進する旅行商品の造成や情報発信に取り組みます。

（主な事業）

- みえ観光の産業化推進事業【293,340千円】**  
交通事業者と連携した旅行商品の造成・販売、情報発信を実施します。万博の開催を契機として国内旅行者をターゲットとする旅行商品造成・販売等を実施します。（観光部）
- プラス三重旅促進事業【50,033千円】**  
大阪・関西万博やF1日本グランプリなど、海外からも注目される大規模イベントを目的に来訪する外国人旅行者や、東京一大阪間や関西圏を中心にゴールデンルートを周遊する外国人旅行者の三重県への周遊・宿泊を促進するため、関西観光本部や日本政府観光局（JNTO）とも連携し、情報発信や旅行商品の造成等に取り組みます。（観光部）
- プロモーション推進事業【48,676千円】**  
三重の強みや良さを生かし「選ばれる三重・多くの人々をひきつける三重」を実現していくため、「三重県」全体の認知度向上に取り組むとともに、全庁を挙げて首都圏の大規模集客施設等におけるプロモーションイベントを開催することにより、三重の魅力を総合的かつ面的に発信します。（政策企画部）
- 熊野古道世界遺産登録20周年事業【33,677千円】**  
熊野古道世界遺産登録20周年を記念し、スペイン・バスク自治州から巡礼道の保全関係者等を招いた国際シンポジウムの開催等を実施します。（南部地域振興局）
- 首都圏営業拠点推進事業【118,879千円】**  
首都圏営業拠点「三重テラス」において、三重の魅力発信の拠点機能をさらに強化するとともに、首都圏と三重県の間で様々な関係者が「つながる」ことを促進します。（雇用経済部）



三重の観光地



三重県フェア



令和7年度は、万博来場者を一人でも多く、三重県に呼び込み、三重の魅力を体感していただきます。



万博での三重県の認知度向上を生かし、さらなる三重県への誘客や県産品の販路拡大につなげます。